

対面授業レベル「レベル1」に緩和
登校回数は週3回まで、密接を伴う演習も再開

本学では感染状況を評価して、10月15日から対面授業レベルをレベル1に緩和いたしました。これにより、登校回数の上限は週に3回になり、止むを得ないものに限っていた「密接を伴う研修」も、注意しながら再開できるようにいたします。

また、本学が7月に発令していた「感染拡大警報」も同日付で「感染拡大注意報」に引き下げました。

しかし感染症への警戒は引き続き必要ですのでソーシャル・ディスタンス確保、マスク着用や手指衛生などの感染予防策を徹底するようにお願いします。

現在の対面授業レベル：レベル1

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
開講時限	2~5 時限	2~5 時限	3~5 時限	緊急事態宣言が発令された場合は登校自粛
登校回数 /週	3回 まで	2回 まで	2回 まで	
学内での 昼食	可	可	不可	
密接を 伴う演習	可	一部可 (指定規則 上やむを得ない場合)	不可	

選択科目や履修等でこの登校回数を超えることもあります。臨地実習時の登校時間等は、実習先との協議によります。

もちろん「大人数での飲み会」等の感染リスクの高い行為は、厳に慎むようにしてください。今後の対面授業レベルの緩和については、感染拡大が比較的に収まっている地域の学部・学科を対象に、試行的な見直しを検討しています。具体的には政府が発表する「1週間の累積陽性者数」や「感染経路が不明な者の割合（アリンク割合）等の指標を総合的に勘案し、これらの指標がともに低水準に収まっている地域に限り、現行の「レベル1」より開講時限や登校回数などを試行的に広げ、その経験などを他学部の対面授業にも役立てたいと考えています。こうしたエビデンスを踏まえた対策により、学生の皆さんが安心して学修できるように努めてまいります。



対面授業レベルの緩和にあたって木村学長から学生の皆さんにメッセージをお送りしました。大学のホームページで視聴できます。



ハワイからの遠隔講義 「Nurse Practitioner活動報告」

看護学研究科 大島 久二 研究科長、早坂 奈美 助教

看護学研究科高度実践看護コースでは、9月16日にハワイ州のナースプラクティショナー 魁生峰子先生より「ハワイでのNP活動報告」についてご講義頂きました。例年、魁生先生の帰国時に講義を行って頂いておりましたが、本年は遠隔での講義となりました。ご経歴、米国NPの歴史、ハワイ州におけるNPの活躍場所、活動の実際、NPの現状と展望等について、ご自身のプライベートの様子も交えてお話頂きました。

学生からは「アメリカでのNPの活動の実際を知りNP像についての考えが広がった、各国の歴史的背景や文化が異なることも謙虚な医療者の姿勢が問われることを再認識した、理想とするNP像に近づけるように講義を活かしたい」等の感想が得られました。長年ハワイで活躍するNPの先生に直接話をうかがえ、非常に貴重な機会になりました。



魁生峰子先生

国際交流委員会では、9月23日から25日までの3日間、オーストラリアの医療・文化・英語を学ぶ「グリフィス大学オンライン研修」を実施しました。本年度は渡豪が困難ですが、学生からの希望もありオンラインでの研修が実現し、全ての学部・学科から22名（教員含む）が参加しました。オーストラリアの文化と生活を中心とした英語研修、オーストラリアの医療制度や新型コロナウイルス感染症対応についての講義、現地の学生やホストファミリーとの交流を行いました。

本学では、2018年からグリフィス大学で研修を行っています。本年5月には交流提携合意書を締結し、学生が異文化を学べる環境を整備しています。

オンライン研修に参加した学生からは「先生や現地の学生、ホストファミリーが温かく、まるで本のように密な交流ができた」等の声が寄せられ、非常に有意義な研修になりました。



本学提携先グリフィス大学と オンライン研修を開催

国際交流センター 早野真佐子 国際交流アドバイザー